

第14回サンポートホール高松デビューリサイタル

出演者インタビュー

3月8日(日)第1部

三浦 蒼衣 / マリンバ



PROFILE

三豊市出身。香川県立丸亀高等学校普通科を卒業後、高知大学教育学部学校教育教員養成課程音楽教育コース4年に在学中。

PROGRAM

- ・わらべ歌による譚章 / 安倍圭子
- ・遙かな海 / 安倍圭子
- ・竹林 / 安倍圭子
- ・タンブラン・パラフレーズ / 安倍圭子
- ・プリズム・ラプソディ / 安倍圭子

Q. マリンバとの出会いを教えてください。

中学校で吹奏楽部に入部したことが、マリンバとの出会いです。最初はドラムに憧れてパーカッションを志望しましたが、次第にマリンバの多彩な音色に惹かれていきました。

Q. マリンバの魅力とは？またソロ演奏で三浦さんが大切にしていることは？

温かく柔らかな音から軽やかで鋭い音、深い重厚な音まで、幅広い音色を表現できるところが魅力です。ソロ演奏では、その瞬間の音楽の情景や感情を想像し、楽しみながら作品と向き合うことを大切にしています。

Q. デビューリサイタル出演に際し、ご家族や周りの方の反応はいかがでしたか。

家族はとても驚いていました。「まさか蒼衣が!？」という反応だったのを覚えています。友人や周囲の方々からも「楽しみ!」という声をいただき、とても嬉しく感じています。

Q. 今回オール安倍圭子プログラムですが、安倍圭子作品の魅力を教えてください。

安倍圭子先生の作品は、情景や心情がマリンバの多様な音色で豊かに描かれている点が魅力です。一音一音に意味があり、表現する楽しさを味わえます。だからこそ、マリンバの良さをお伝えするのに最適だと思いました。

Q. いつか演奏してみたい憧れの曲はありますか？

実は今回演奏する《プリズム・ラブソディ》が、これまでの目標の曲でした。将来いつか機会があればオーケストラと共演しながら、この作品を演奏できるようになることが新たな目標です。

Q. 三浦さんは教員採用試験の勉強と練習の両立で大変な時期もあったかと思います。気分転換の方法があれば、ぜひ教えてください。

演奏すること自体が私にとって良い息抜きでした。好きな曲ばかり選んで演奏していました。他にも今年は編み物を始めて、心を落ち着かせる時間になっていたように思います。

Q. 今後、地元香川県ではどのような演奏活動をしていきたいですか。

まずは小学校教員として子どもたちの近くで音楽の魅力を伝えながら、マリンバの演奏も続けていきたいです。機会があれば、演奏会などを通して多くの方に音楽を届け、マリンバ音楽の発展に少しでも貢献したいです。

Q. 最後に今回のインタビューをご覧になった方へのメッセージをお願いします！

最後までご覧いただきありがとうございます。マリンバの魅力を少しでも感じていただけるよう、心を込めて演奏します。皆さまにとって素敵な 45 分間になれば幸いです。沢山の方のご来場をお待ちしております。

第 14 回サンポートホール高松デビューリサイタル

2026 年 3 月 7 日(土)・8 日(日)

14:00 開演 (13:20 開場)

サンポートホール高松 4 階 第 1 小ホール

♪ 3 月 7 日(土) ♪

中山笑里 (ユーフォニアム)、先田圭吾 (クラリネット)

♪ 3 月 8 日(日) ♪

三浦蒼衣 (マリンバ)、吉田夏希 (クラリネット)

【お問い合わせ】

サンポートホール高松(公財)高松市文化芸術財団

087-825-5010 (平日 9:00~18:00)

